

# 教員育成に対する理念および認定課程設置の趣旨

## ＜スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻＞

### スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻で取得できる免許状の種類

- ・ 中学校教諭専修免許状（保健体育）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（保健体育）

### 教員養成に対する理念

スポーツ健康科学研究科は、スポーツ健康科学の高度な専門性に基づく理論と実践を有し、豊かな人間性とリーダーシップを備え、社会の発展に貢献する有為な人材の養成を目的とし、スポーツ健康科学分野の専門的かつ高度な実践力と研究力をもつとともに、研究成果を社会に発信できる専門職業人ならびに研究者の養成を目標としている。

以上の理念、ならびに本学の教職課程教育において養成を目指す教師像である、6つの力（授業力、児童生徒理解力、教師としてのコミュニケーション力、教師としてのマネジメント力、教師としての自己形成力、教師として学び続ける力）を踏まえ、スポーツ健康科学研究科では、総合的・学際的でグローバルな研究、ならびに「教科に関する科目」等の履修を通じて「授業力」および「教師としての自己形成力」を、リーダーシップやコーチング力を育成する研究を通じて「児童生徒理解力」および「教師としてのコミュニケーション力」を、理論と実践や社会連携・地域連携による研究を通じて「教師としてのマネジメント力」および「教師として学び続ける力」を育成し、社会人、研究者としての使命感や豊かな倫理観を持って、生徒にスポーツや社会活動の重要性を伝え、スポーツの楽しさや健康に関わる知識を広め、指導していくことのできる、より専門性の高い中学校・高等学校教員を育成することを目標としている。

### 認定課程の設置の趣旨

- 中学校教諭専修免許状（保健体育）、高等学校教諭専修免許状（保健体育）

「中学校学習指導要領」では、保健体育における教科の目標を「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」とし「(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。」「(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。」「(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う」と資質・能力の柱を定めている。また、「高等学校学習指導要領」では、保健体育における教科の目標を「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」とし「(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。」「(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。」「(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う」と資質・能力の柱を定めている。日本において「超高齢化社会」、「人口減少社会」は既に到来しており、健康寿命の延伸は社会的に重要な課題となっている。グローバルな社会を迎えた21世紀において、日本から世界へ、また世界から日本への迅速な情報発信が求められており、特に人類共通のテーマであるスポーツや健康に関わる課題の合理的、計画的な解決等について、国際感覚とグローバルな視野から分析・検討・実践していくことができる人材を育成する事が重要と認識している。

スポーツ健康科学研究科では、学習指導要領が定める教科の目標や社会的動向を踏まえ、研究科の教育課程（博士課程前期課程）と連携した教員養成を進めることを目指しており、高度な力量と専門性を備えた保健体育科教員の養成が可能である。

以上の理由により、本専攻に中学校および高等学校教諭専修免許状（保健体育）の取得が可能な教職課程を設置する。

以上